



2022年1月14日

各 位

会 社 名 株式会社ブロンコビリー
代表者名 代表取締役社長 竹市 克弘
(コード番号 3091 東証第一部・名証第一部)
問合せ先 取締役総合企画部長 古田 光浩
電話番号 052-856-4129

通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2021年7月15日に公表いたしました2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の通期業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期通期業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,200	百万円 200	百万円 1,300	百万円 900	円 銭 59.69
実績 (B)	15,773	△48	1,549	955	63.35
増減額 (B-A)	△426	△248	249	55	—
増減率 (%)	△2.6	—	19.2	6.1	—
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	17,272	162	250	△588	△39.01

2. 差異の理由

前回発表の7月15日以降も新型コロナウイルス感染は拡大を続け、4回目の緊急事態宣言は繰り返し延長され、営業時間短縮や酒類の提供自粛の要請が長引きました。緊急事態宣言中も、ステーキを特別価格で提供する「夏のご馳走ステーキ祭り」やアプリによる既存顧客への販促策を講じ、集客に努めました。緊急事態宣言が解除された10月以降、消費が次第に拡大する中で、客数の回復が鈍い平日ディナータイム限定での全品20%OFF等の「秋のお客様感謝祭」を実施し、第4四半期の既存店前年比は100%を超えるまでに回復いたしました。しかしながら、営業時間短縮の影響を挽回するまでには至らず、売上高は計画を下回りました。また、営業時間や客数の増減に合わせたシフト調整、経費削減等に努めましたが、営業利益は計画を下回りました。

一方で、営業外収益に新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止協力金等の給付金15億38百万円を助成金収入として計上し、経常利益、当期純利益は業績予想を上回りました。

以 上